

（天理本通り商店街が「新・がんばる商店街77選」に選定）

近鉄・JR天理駅前から天理教本部に至る「天理本通り商店街（川原城アーケード商店街、三島アーケード商店街）」は、約1kmにも及ぶ奈良県下最大のアーケード商店街である。この度、同商店街は、経済産業省・中小企業庁の『新・がんばる商店街77選』に選定された。

この事業は、地域の住民に役立ち、地域の魅力を発信するなど商店街ならではの取組みを通じて活性化を図っている商店街を、中小企業庁が選定し公表しているもので、今後の商店街の活性化に向けたモデル事例として紹介し、全国的な普及・展開を図ることを目的としたものである。

「天理本通り商店街」では、平成18年度以来、奈良県の支援の元で「商店街モデルプロジェクト」として活性化に取り組んでおり、それをきっかけに「中小商業活性化実行委員会」が結成された。そして、天理の街を知ってもらうため、観光と商業の振興を兼ねたイベントや施設整備を打ち出し、周辺地域の消費者にとって魅力のある商店街づくり、近隣や他地域からの交流人口の増大を目指している。

特に天理は学生の街でもあり、さらには、世界中から留学生や観光客が集まる国際都市としての顔も持つことから、学生自治会との連携により学生の若い活力を取り込む試みも活発である。

昨年4月には、広さ約39㎡の空き店舗を、商工会が改装を行い、学生を主体とした「てんだりー colors」としてオープン。学生の作品発表やイベントなど様々な情報発信の他、多くの人々が集まり交流する拠点化が図られたことは話題となった。

その他の活動も活発で、主なものだけでも、商店街ぐるみで子育てを応援するイベント「子育て応援フェスタ」や「アーケード街ギャラリー」の開催、アーケード街がろうそくの灯りでもとされる「アーケード燈華会」と天理大学生の製作によ



る巨大灯籠の展示、また、福祉に対応した事業としては、ベンチ等の「休憩スペース」の設置、商店街のトイレや休憩スペースを記載した「誘導看板」の作成な

どの事業にも取り組んでいる。

先頃、3月29日にも、天理大学と天理商工会主催のイベント「年中夢中！てんりストリート」が催され、同商店街を中心に、多くの商業者、学生、市民が参加し賑わった。

このように、同商店街では、来街者に配慮した商店街づくり、安心・安全な商店街づくり、地域の魅力を発信する取組み、地域住民と連携したまちづくりを進めてきたが、これらはまさに、今回の「新・がんばる商店街77選」の選定においてポイントともなった点である。（山城 満）



「年中夢中！てんりストリート」は、天理大学生や市民の参加で賑わった。

これからの主な催し

【主な行事】

●唐招提寺 うちわまき

開催日：2009年5月19日（火）

場 所：唐招提寺（奈良市五条町）

鎌倉時代、唐招提寺中興の高僧覚盛上人が修行中に蚊にさされていたおり、それを見かねた弟子僧がたたこうとしたところ、上人は「自分の血を与えるのも菩薩行である」と戒めたという。

その徳をたたえ、ハート型うちわを供えるようになったのがうちわまきの始まりとされる。当日は、多数のうちわが参拝者にまかれ、これを授かることは病魔退散や魔除けのご利益があるといわれている。

交通：近鉄橿原線西ノ京駅下車、北東へ徒歩7分。

関連URL：<http://www.toshodaiji.jp/>